

令和７年８月細砂通過放流の経過について（速報）

令和７年１０月

連携排砂実施機関
国土交通省北陸地方整備局
関西電力株式会社

令和7年度 細砂通過放流について

1. 目的

出し平ダムでは主に排砂ゲート、宇奈月ダムでは水位低下用ゲートを用いて、流入する細かな土砂をできるだけ放流する。
また、堆砂面付近の水の流れにより底質の改善を促す。

2. 実施基準

①梅雨期間

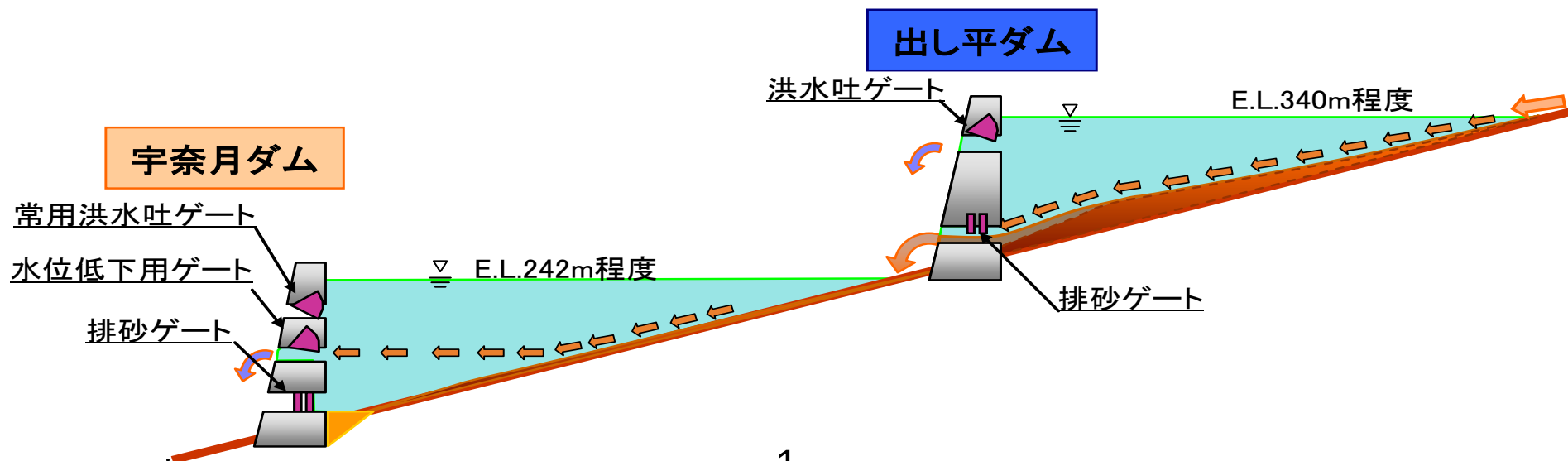
排砂後に、出し平ダムへの流入予測において、 $480\text{ m}^3/\text{s}$ を超過する可能性があり、かつダム流入量が出し平ダムで $300\text{ m}^3/\text{s}$ 、宇奈月ダムで $400\text{ m}^3/\text{s}$ のいずれかを上回る出水時に実施。

②梅雨明後

排砂後に、ダム流入量が出し平ダムで $300\text{ m}^3/\text{s}$ 、宇奈月ダムで $400\text{ m}^3/\text{s}$ のいずれかを上回る出水時に実施。

3. 実施方法

両ダムとも貯水位を高水位で保持したまま、出し平ダムでは主に排砂ゲート、宇奈月ダムは出洪水の調節完了後、水位低下用ゲートを開ける。なお、細砂通過放流において通砂実施基準流量に達しない場合の終了は、ダム流入量及びダム下流の濁度等を勘案し、実施機関で適宜判断する。また、細砂通過放流中において通砂実施基準流量を上回る流量に達した場合には、従来の通砂に移行できるものとする。

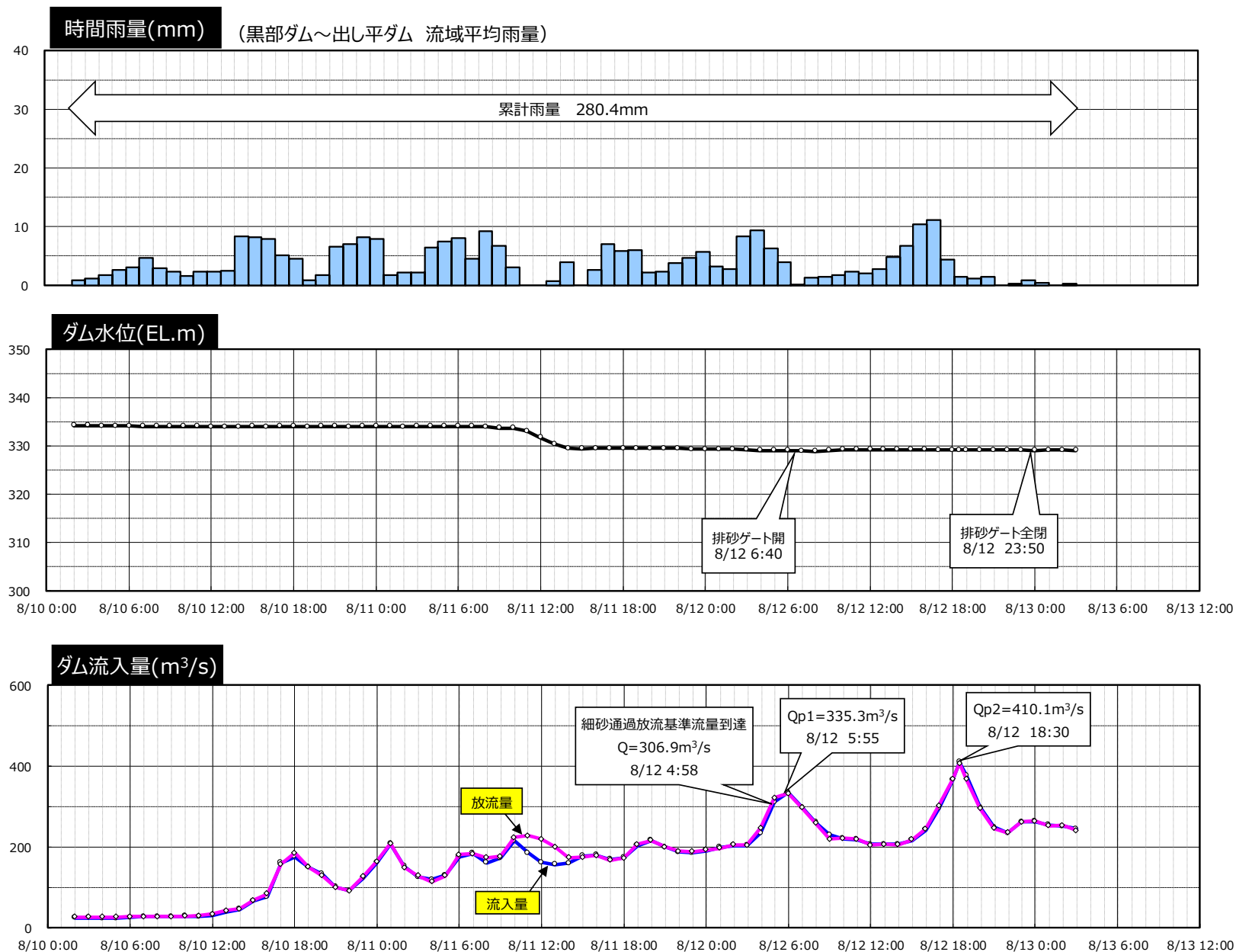


令和7年度細砂通過放流の実施経過

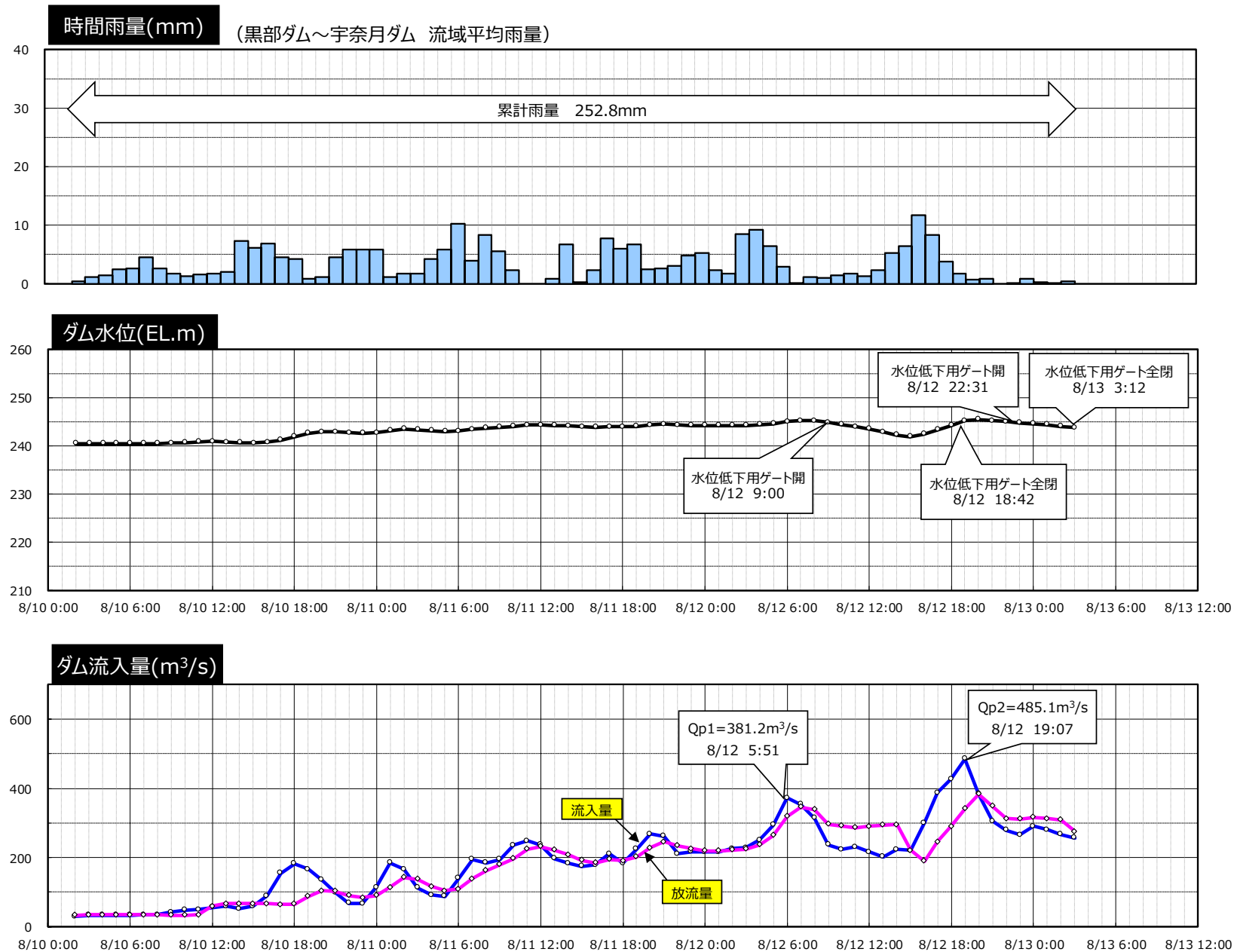
日 時		出 し 平 ダ ム	宇 奈 月 ダ ム	備 考
8月11日	16:10	細砂通過放流準備体制入り		
8月12日	4:58	細砂通過放流基準流入量確認 ($Q_{in} \geq 300 \text{ m}^3/\text{s}$)		出し平ダム $Q_{in} = 306.9 \text{ m}^3/\text{s}$
		細砂通過放流実施決定		
		連携排砂実施機関・連携排砂連絡調整本部発足		
	5:51		ピーク流入量確認 ($Q_p = 381.2 \text{ m}^3/\text{s}$)	
	5:55	ピーク流入量確認 ($Q_p = 335.3 \text{ m}^3/\text{s}$)		
	6:40	↑ 排砂ゲート開操作開始		
	9:00	ゲート放流時間 17時間10分経過	水位低下用ゲート開操作開始	宇奈月ダム貯水位確認 (EL=245.0m以下)
			ゲート放流時間 9時間42分経過	
	18:30	ピーク流入量確認(2回目) ($Q_p = 410.1 \text{ m}^3/\text{s}$)		
	18:42		水位低下用ゲート全閉 ※	
	19:07		ピーク流入量確認(2回目) ($Q_p = 485.1 \text{ m}^3/\text{s}$)	
	22:31		↑ 水位低下用ゲート開操作開始	宇奈月ダム貯水位確認 (EL=245.0m以下)
	23:50	↓ 排砂ゲート全閉	ゲート放流時間 4時間41分経過	濁度観測結果により操作終了
8月13日	3:12		↓ 水位低下用ゲート全閉	出し平ダム排砂ゲート全閉から約3時間経過
		連携排砂実施機関・連携排砂連絡調整本部解散		

※2山目の洪水があり、宇奈月ダムで貯水位245mを超えたため操作規則に基づき一旦水位低下用ゲートの全閉を行った。

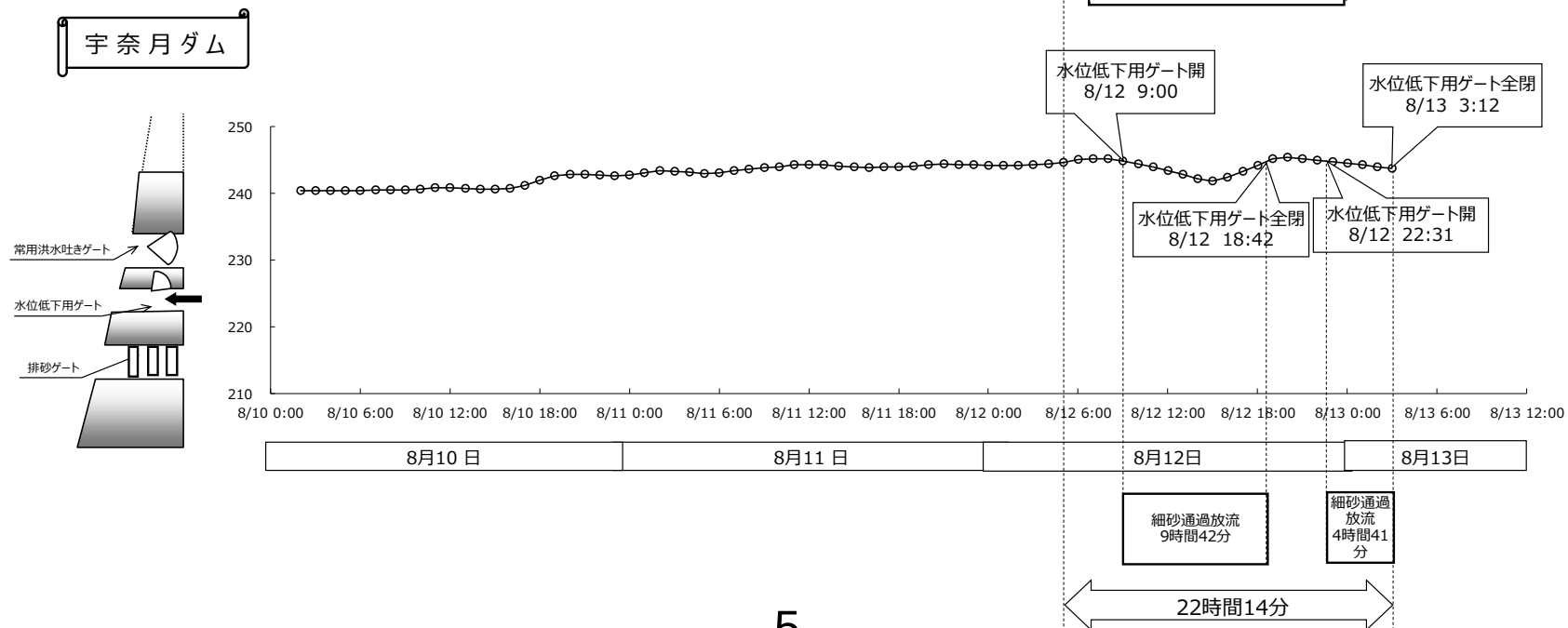
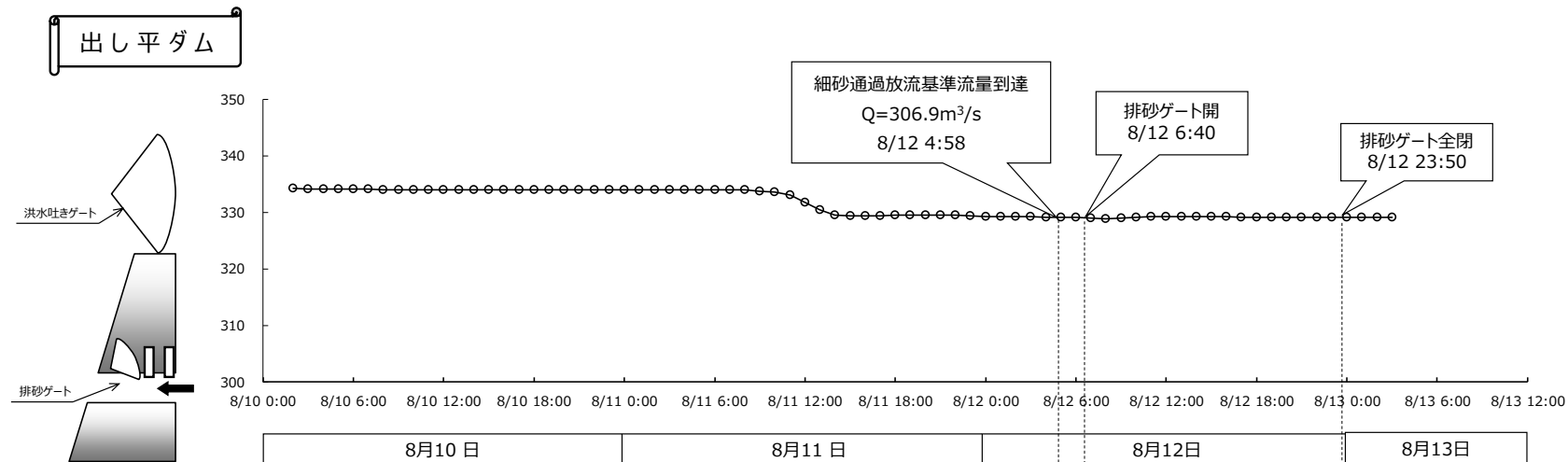
出し平ダム水文データ（令和7年細砂通過放流：8月10日～8月13日）

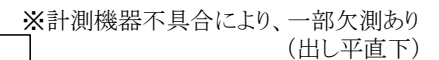


宇奈月ダム水文データ (令和7年細砂通過放流: 8月10日~8月13日)



細砂通過放流の状況（両ダム水位の模式図） 8月10日～8月13日





※海域C点およびP12点の観測最大値は、宇奈月ダムから海域までの流下時間(4時間)を考慮して、宇奈月ダム水位低下用G開操作後の4時間後における正時から水位低下用G全開後の4時間後における正時までをもって算出している。